

## 川崎市議会議員 いわくまちひろ

# 市の天下りあつせん止めるべき

民主みらい  
川崎市議団

連載No.78

本コラムでも、市幹部職員の再就職（天下り）について度々書いてきました。秋の議会でも、市の主な出資法人などに再就職（天下り）した市幹部職員について、任期は65歳までという市のルールがあるにも関わらず、昨年は3法人3役員が違反、そして今年はその中に悪化し、9法人10人まで拡大するなど事実上放置状態になっています。また、12月議会でも明らかになったの

は、出資法人から出資法人に移籍するいわゆる「渡り」と言われる出資法人の幹部人事について、市が関与している事実も判明しています。市長は、自らの公約で「天下り禁止

を掲げ当選されました。また、最近の市長後援会の機関紙では、天下りに対して「選考委員会を設けて客観性や透明性を確保した」としていますが、選考委員会のメンバーも、市と密接な関

わりのある法人の役員さんたちです。それで、客観性を担保したとはいえないでしょう。

出資法人の幹部職は65歳までという市のルールに違反している法人が増加。出資法人から出資法人へのあつせんも禁止せず。選考委員会のメンバーも客観性に乏しい。これが、川崎市の再就職（天下り）の現状です。

市退職職員の再就職については、市長がリーダーシップを発揮すれば、改善できる改革です。それでも実行できないというところは、しがらみや行政内部の既得権益を浄化できない証左でしょう。

今後、市民に公共施設の使用料や手数料を求める案も浮上っています。あるならば、市民に負担を求める前に、政と密接な関わりのある出資法人改革を早急にもるべきではないでしょうか。

パフォーマンスよりも、市民と約束した公約を実行すべきです。



## 川崎市議会議員 いわくま千尋

- 昭和50年生まれ 40歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業  
ロンドン大学大学院研究生  
専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！（9年2カ月）